第4回横浜市立市民病院市民委員会資料一式

- 1 第4回横浜市立市民病院市民委員会 次第
- 2 横浜市立市民病院市民委員会委員名簿
- 3 横浜市立市民病院市民委員会 席次表
- 4 第4回横浜市立市民病院市民委員会資料(配布済)

第4回横浜市立市民病院市民委員会 次第

平成18年 9月13日(水)

18 時から

がん検診センター大会議室

- 1 開会
- 2 病院長挨拶
- 3 市民委員会 出席委員紹介
- 4 委員長挨拶
- 5 議事
 - (1) 平成17年度決算について
 - (2) 横浜市立病院経営改革計画の進ちょく状況 及び平成17年度の評価について
 - (3) 平成17年度患者アンケート調査について
 - (4) 地域がん診療連携拠点病院の指定及びこれ に伴うがん診療機能の強化について
 - (5) その他
- 6 閉会

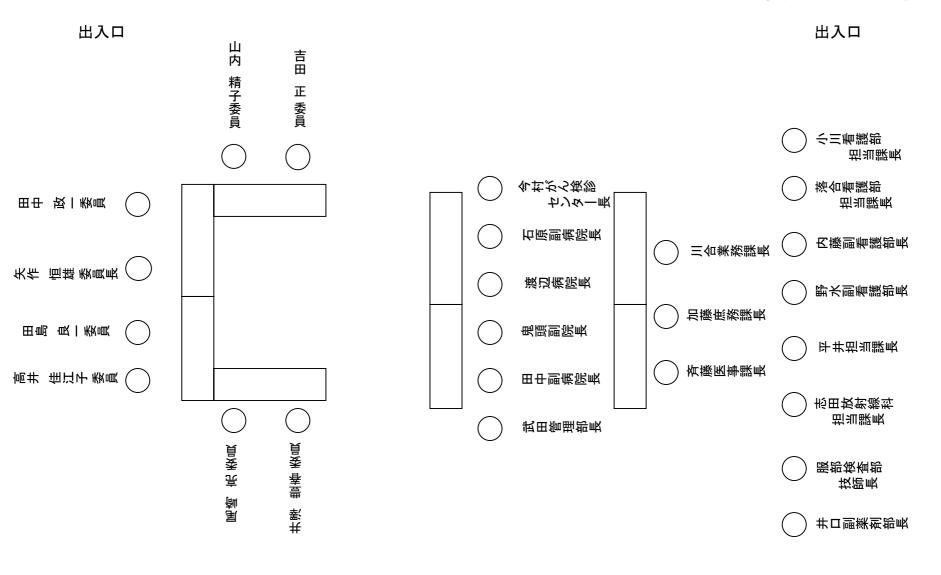
横浜市立市民病院市民委員会委員名簿

(敬称略•50音順)

氏 名			役職等
		豊 春	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院院長
伊	藤	美 紀 子	保土ヶ谷区保健活動推進員会区副会長
尾	崎	亮	おざき小児科院長
高	井	佳 江 子	弁護士
田	島	良 一	市民病院ガイドボランティア
田	中	政 一	神奈川区三ツ沢連合自治会町内会連絡協議会会長
矢	作	恒雄	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科教授
Щ	内	精子	済生会かながわ訪問看護ステーション管理者
吉	田	Œ	保土ヶ谷区医師会長

横浜市立市民病院市民委員会 席次表

H18. 9.13 がん検診センター大会議室



傍 聴 席

第 4 回横浜市立市民病院 市民委員会資料

		貝
1	平成17年度決算について	1
2	横浜市立病院経営改革計画の進ちょく 及び平成 17 年度の評価について	状況 5
3	平成 17 年度患者アンケート調査につい	いて 11
4	地域がん診療連携拠点病院の指定及び 伴うがん診療機能の強化について	 これに ·····22
5	その他	

平成 18 年 9 月 13 日 がん検診センター大会議室

平成17年度病院事業会計決算(連報)について

【決算の概要】

17年度は、本市病院事業に地方公営企業法を全部適用し、病院経営局として独立した初年度となります。 経常収支の赤字は病院事業全体で約5億円減少し、約30億円となりました。また、患者数は、みなと赤十字 病院の開院などにより大幅に増加しました。

(注)17年度は、一般会計繰入金の見直しや、みなと赤十字病院の開院などにより、事業構造が16年度以前とは大きく変わっており、前年度決算との単純な比較は困難となっています。なお、決算については、監査委員の審査を経て第3回市会定例会に上程されます。

〇経常収支の状況

(単位 百万円)

	17年度	16年度	増△減	備考
病院事業会計	△ 3,022	△ 3, 552	530	
一般会計繰入金	5, 121	4, 586	535	
市民病院	113	785	△ 672	
一般会計繰入金	1, 511	2, 296	<i>△ 785</i>	
脳血管医療センター	△ 1,249	△ 2,319	1, 070	
一般会計繰入金	2, 296	1, 575	<i>721</i>	
みなと赤十字病院	△ 1,886	-	△ 1,886	17年4月開院 (584床)
一般会計繰入金	1, 314		1, 314	日本赤十字社による運営
旧港湾病院	4 -	△ 2,018	2, 018	17年3月閉院 (300床)
一般会計繰入金	-	715	<i>△ 715</i>	17年3月闭烷(300床)

(注)17年度の一般会計繰入金は、地方公営企業法の全部適用以降に発生した本部経費に対する繰入金を除いています。

〇患者数の状況

·	17年度	16年度	増ム減	増減率
入院患者数合計	435,863人	332, 179人	103, 684人	31.2%
市民病院	205, 245人	202, 599人	2, 646人	1.3%
病床利用率	93.78	<i>92. 5%</i>	1. 2%	-
脳血管医療センター	85; 769人	95, 745人	△ 9,976人	△ 10.4%
<i>病床利用率</i>	.78.33	87. 4%	△ 9.1%	-
みなと赤十字病院	144,849人	-	144, 849人	皆増
病床利用率	68.0%	-	68. 0%	_
旧港湾病院	1	33, 835人	△ 33,835人	皆減
病床利用率	1	30. 9%	△ 30.9%	_
外来患者数合計	594,786人	517, 745人	77, 041人	14. 9%
市民病院	。 335,259人	356, 517人	△ 21,258人	△ 6.0%
脳血管医療センター	35,602人	38, 042人	△ 2,440人	△ 6.4%
みなと赤十字病院	223, 925人	-	223, 925人	皆増
旧港湾病院 (注)市民療際の療序利用率は、威克		123, 186人	ム 123, 186人	皆淑

(注)市民病院の病床利用率は、感染症病床を除く一般病床の利用率です。

「元・「子・「ケード」 - 「油去量高の湯味利用薬 (GB TA) による年望線の経済機会を直収

一般会計繰入金を民間病院への補助等に準拠した積算に見直すなど約8億円削減する一方で、過去 最高の病床利用率を達成し、3年連続で経常黒字を確保しました。

経営改善の取組

【救急医療の充実】

17年10月から整形外科の24時間365日の救急を開始するなど、救急患者の積極的な受入れにより入院患者数が増加しました。

(救急患者数 16年度19,031人→17年度19,916人(885人増))(病床利用率 16年度92.5%→17年度93.7%)

【がん診療機能の充実】

内視鏡センター及び外来化学療法室を開設(18年3月)し、患者の身体的負担の軽減や在宅療養の推進を図りました。また、がん検診の土曜日検診(月1回)を開始しました。(17年11月)

【地域医療連携の推進】

紹介患者予約センター(17年6月)及びかかりつけ医案内コーナー(17年8月)を開設し、地域医療機関との紹介・逆紹介を推進しました。(紹介率 16年度40.8%→17年度61.2% 逆紹介率 16年度29.5%→17年度42.6%)

【病院機能評価の認定】

(財)日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定を受けました。(17年5月)

【外来診療開始時間の繰上げ】

外来の診療開始時間を15分早め、8時45分からとしました。(18年4月)

「横浜市立病院経営改革計画」に基づき、脳血管疾患医療の構造的な不採算性については、一部を一般会計で負担することを明確化し、一般会計繰入金を約7億円増額したこと及び減価償却費が約3億円減少したことなどから、経常収支の赤字額は約11億円減少しています。しかし、10月から土日の救急対応を一部制限したことなどから、患者数は入院・外来ともに減少しました。

経営改善の取組

【回復期リハビリテーション病棟の施設基準取得などリハビリテーションの充実】

市内に不足する回復期リハビリテーション病棟の施設基準を1年前倒しで取得するなど、医療の質の向上と経 営改善の両面から改革を推進しました。(17年11月)

【MR検査枠の拡大】

MR検査を昼休みも実施するなど、検査枠を週19枠増加しました。(17年10月)

*研修也有情情享福*馬馬豐溫島者數は順國尼盟加德教息團者起積極的這意及和I

収入額と同額を指定管理者に交付する仕組みであり、建物の減価償却費等と同額の経常赤字が計上されます。なお、19年度以降は標準的な減価償却費相当額として、年間約6億円の負担を指定管理者に求めます。

主な取組

【政策的医療等の実施】

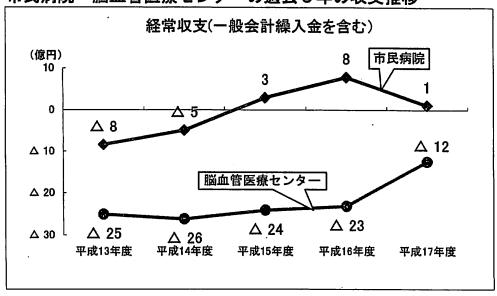
救急医療、緩和ケア医療(17年5月〜)、アレルギー疾患医療(17年7月〜)などの政策的医療等を実施しました。(救急患者数 17,453人、緩和ケア患者数 3,662人、アレルギー医療に関する啓発活動(8回)や研究 (3テーマ)の実施)

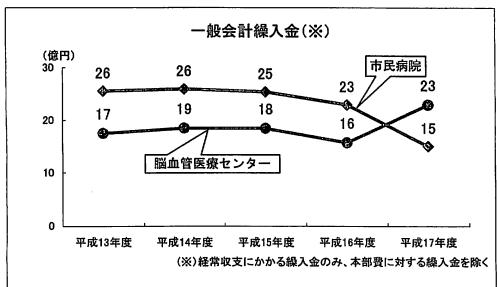
【電子カルテの導入】

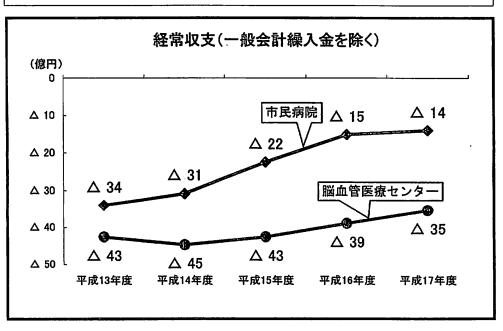
電子カルテの運用を開始し、検査の予定や検査結果のお知らせ、食事メニューの選択などに関する情報を開示し、患者サービスの向上を図りました。(17年4月)

参考資料

市民病院・脳血管医療センターの過去5年の収支推移





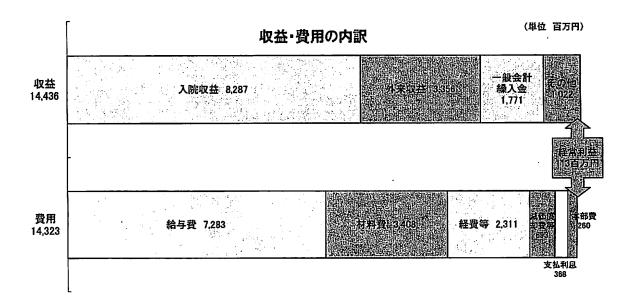


市民病院 決算の概要

収益的収支

(単位 百万円)

	17年度	16年度	差引	増△減	增減説明
収益的収入	14436	15,040	Ž∆604	∠ 438	
入院収益	8,287	8,304	△17	△ 0.2%	
外来収益	3,356	3,616	△260	△ 7.2%	地域連携を強化し、逆紹介を推進したことによる患者数の減に より、減少しました
一般会計繰入金	1,511	2,296	△785	△ 34.2%	救急医療経費やがん検診センター運営経費等に対する繰入 の見直しを行いました
本部費繰入金	260	0	260	皆増	16年度まで一般会計負担であった本部費に対する繰入です
その他	1,022	824	198	24.0%	
以基的支出 。	14,323	14,255	31.68	¥ 0.5%	
給与費	7,283	7,379	△96	△ 1.3%	退職手当の減などにより減少しました
材料费	3,408	3,267	141	4.3%	抗がん剤など高額薬品の使用量の増などにより増加しました
経費等	2,311	2,414	△103	△ 4.3%	委託料や光熱水費の減などにより減少しました
滅価償却費等	693	798	△105	△ 13.2%	昭和63年に再整備した建物等の減価償却が一部終了しました
支払利息	368	397	△29	△ 7.3%	
本部費	260	. 0	260	皆增	16年度以前は一般会計で負担していましたが、地方公営企業 法全部適用により、病院経営局の負担となった費用です。
经学项支	1) [3	785	≥ △67/2	X 85 6X	



横浜市立病院経営改革計画の進捗状況及び平成17年度の 評価について(市民病院関係部分抜粋)

「平成17年度の評価について」 経営改革計画の各取組項目について、4段階評価を行いました。

評価	Α	В	С	D
項目数				
	0	7	3 3	0
構成比	•			
	0%	17.5%	82.5%	0%

* 4段階評価の内容

A:非常によくできた

(計画を大幅に上回り著しい成果をあげた。また、当初の計画にはなかったが状況の変化に速やかに対応し、国や他都市に影響を与えるなどの効果があった。)

B:よくできた

(計画を上回って実行し、目標を超える成果をあげた。また、想定できなかった 状況の変化から、目標は実現できなかったが重点化して取り組んだ。)

C: ふつう

(計画どおりに実行した。または、目標どおりの成果をあげた。)

D:できなかった

(計画を下回った。または、目標が実現できなかった。)

1 市立病院が果たすべき役割

_				果たすべき役割			2 Jr 89	ュール		取組実績等	
	取	組	項目	内	容	17年度			20年度		評価
		機関	染症指定 の指定 5民病院)	SARS、ペスト、 1類感染症に対応 種感染症指定医 定を受けました	むする第一 譲機関の指	16年度		_	_	16年11月に指定を受けました。	С
	地域が診療道		診療連携	地域全体におけ 水準の向上を図 て地域がん診療 病院の指定を受	る病院とし <u>運機</u> 拠点	指定	_	_	_	18年3月に神奈川県に指定 の申請をしました。	С
	拠点類の指定	対院とな	施設・説	倪頭センダー等 備を充実します	の施設・設	な施設 の充実	→	→	→	外来化学療法室及び内視鏡 センターを18年3月に開 設しました。	
	診療材 の強化 (市民 院)	Ŀ	がん治療 チームの 編成	診療科の枠を超 なチームで総合 的にがん治療を を編成します。	的かつ集中	検討	→	がん治 療チー ム編成	-	検討を進めています。	С
			緩和ケス 病棟の 備検討	│綴和ケア病棟を 経診・治療・終末 連の医療を提供	期ケア等ー します。	検討	整備	開設	_	緩和ケア病棟の設置に向け た内部検討を実施しまし た。	С
8	の対象の行列を	を収め	必要とな 平時から な提供	の散布・漏出事 関して市民が必 報等について、 積極的な提供を	やエイズ (や で い で 化 等 学 物 等 で る の で の い の い の で の の り す っ の ら の ら っ い う っ ら ら っ ら っ ら っ 。 っ 。 っ 。 。 っ 。 。 っ 。 。 。 。	検討	実施	→	→	検討を進めています。	С
10	とした療情	中心 た診 服シ	市民病院	カルテ等の情報 を 極的に進めると	ともに、イ ンセントの 、電子カル :診療情報シ	検討	準備	段階的稼働		現行業務の流れを調査する とともに、システムの基本 要件について検討・洗い出 しを行いました。	
11	専門の設窓の	の患コの	者総合相 設置	患者が各種の相対する苦情・提を行いやすくす 専門の総合的な口を設置します	談や病院に 案の申出等 るために、 患者相談窓	検討	設置	_		18年1月にさわやか相談 室を設置しました。	С
12		こよ	ス報告のる報告制	用することによ 情報の的確な担 行います。	・ト報告と併 :り、リスク !握と対処を	実施	→	→	→	報告様式を定め、実施して います。	c
13	インセ	フォント	ームドコ の充実	思者が自などををとれる。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	こついて十分 らけた上で、 ら自らの意思 : ができるよ -ムドコンセ	実施	→	→	→	説明や同意等に使用する様 式について見直しを図りま した。	
15	の施	設認 (ī	(定取得 市民病院)	地域における医療のなりでは、一切なりでは、一切なりでは、一切を関係を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	療連携の中 たすため、 東連携に取組 で援病院の施 います。	紹介率 向上等 の取組	認定	—	_	予約センター及びかかりつけ医案内コーナーの開設などにより、紹介率・逆紹介率が大幅に向上しました。	
16	全体市民	の精 や地 への	i度管理、 !域医療機	化を進め、必要 域医療機関等に	ニータベース Eな情報を地		管理	情 報提 供の実施	:	衛生局、神奈川県予防医学 協会と実施に向けた調整を 行いました。	

Γ	取組項目	内	容			ュール		取組実績等	
	双侧竖口	• •		17年度	18年度	19年度	20年度	取組実績(H18.3月末まで)	評価
17	市民講座等の開催、保健行政との連携のもとでの疾病予防・健康づくり活動の展開	市民の健康増減るとというで、おりません。ともしとので、でいるで、行動を展開している。	座等を開催す 各区福祉保健 連携のもと ・健康づくり	検討	実施	1	→	各病院の特徴的な機能や人 材を生かした市民講座等を 開催しました。	С
18	医師臨床研修後期 研修(仮称)の整 備・実施 (市民病院)	意欲のある医師 ため、臨床研修 修(仮称)につい 施します。	修後の後期研		†	†		臨床研修を修了した医師を 継続して育成する臨床研究 医制度の整備により、13人 の医師を採用し、医師の <u>育成</u> と医療の質の向上に 貢献しました。	В
20	市立病院に関する より分かりやすい 充実した情報の提 供		医師の専門分 等の市民が医 する際に参考 ど、市立病院 分かりやすい	美 胞	→	→	→	病院経営に関する情報や政策的医療の実施状況等に関する情報や政いて、ホージで公開しました。また、アレル・財産の関係する花が、粉に関係するでリアルを増加を関係がある。	С
2	市立病院の運営を 支援する「市民委 員会」の設置	市立病院の選 に積極的に情 院運営に市民 させるため、 民委員会」を	報提供し、病 の意見を反映 各病院に「市 設置します。	10年度				市民病院については16年度に設置しました。脳血管医療センターとみなと赤十字病院については、設置に向けて準備中です。	
2	各市立病院に共通 の患者満足度調査 の実施及び結果の 公表	に反映するこ サーロリスの一 関に共通のた に実施し、そ に公表します	す、院と層のようの、高島の関連での、満にの関係を対しての、満結に療実市度を開いる。 病産果 のいまる はままる いっぽん かいいい かいいい かいいい かいいい かいいい かいいい かいいい かい	検討	実施	→	→	市民病院と脳血管医療センターで共通の患者満足度調査を実施しました。	O
2	財団法人日本医療 機能評価機構が実 3 施する病院機能評 価の受審、結果公 表及び認定の取得	医療に対する 層の向上を図	信頼と質の一 るた機のでは いい では では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	順次受 審・結 果公表	_ →	→	病院認	市民病院は17年5月に認定 を取得しました。脳血管医 療センターとみなと赤十字 病院については、受審に向 けて準備中です。	С

2 市民病院

_	2 市民				-	スケジ	7 — II.		取組実績等	\neg
	取組工	項目	内	容	17年度			20年度		評価
	多床室の改 室→4床室) アメニティ サービス及 管理の向上	修(0床)による /一、 なび安全	サービスの向 の一層の向上 既存の多床室 階的に4床室へ す。	(6床室)を段 へ改修しま	検討		改修・ 段階的 移 行	→	<i>病床</i> の稼動状況、療養環 境等の面から検討を進めて います。	С
	在宅療養支 を担う専門 の設置	の部署	援するため、 機能を担う専 置します。		検討	· 1	設置	†	17年6月に患者総合相談室 を設置し、この中で在宅療 養に向けた支援機能につい ても担うこととしました。	С
	クリニカル (入院診療 の作成・2 大	レパス 計画書) 5用の拡	医療の支援を リニカルパス 画書) の作成 します。	ト及びチーム 図るため、ク (入院診療計 ・活用を拡大	実施	→	→	→	クリニカルパス部会を中心 に推進を図り、58本のパス を活用しています。	В
58	専門・特殊 充実、外来 初診原則紹 約制の実施	株外来の 民診療の 紹介・予	実を図ります に伴い、外来 則紹介・予約 す。	特殊外来の充。また、これ 診療を初診原 制に移行しま	検討	来等の	紹介予 約制一 部実施	段階的 充 実	た、セカフトオピーオン外 来を18年1月から実施して います。	В
	プライマリ 重視した初 等を行う終 外来の整備	リケアを 切期診療 総合診療 備	プライマリケ 初期診療と各 の振り分け、 への紹介等を <u>外来を整備し</u>	アを重視した 科外来診療 地域医療機関 行う総合診療 ます。	検討	施設整備	開設	_	プライマリケアの研修を開催し、人材育成を進めています。総合診療外来の整備については、検討を進めています。	
60	地域に必要 る救急医療	要とされ 駅の充実	例の拡大を図	含めた適応症 るなど、地域 る救急医療の す。	内容等	段階的 充 実	→	→	17年10月から整形外科救急 を開始しました。	В
61	かんほうした。	の経営の 健全化	効率の改善に 健全化を図り		実施	→	→	→	一次検診事業について市からの委託方式とするとともに、センター独自の検診項目について受益者負担の見直しを行いました。	1 1
	新たな検診方法の	12 /3 /34 C/	検診方法を導		12.11	導入			新たな検診方法についてセ ンター内部で検討を進めま した。	
62	医療環境に しい質の高 ビスの提供	いサー	参考図書を閲 できる患者自 ナー(仮称)の の高いサービ いきます。	設置など、室 スを提供して	検討	段階的 実 施		→	17年8月にかかりつけ医 案内コーナーを設置しまし た。	
63	入院患者の 数の短縮	の在院日	を進め、収益 図ります。	院日数の短縮 単価の向上を	20千及		4.0日未	満に短	16年度:15.5日 17年度:15.0日	В
64	診療報酬信 の導入	包括評価	報酬の包括評 ります。	想される診療価の導入を図	検討	→	準備	導入	導入に向け、準備を進めま した。	С
65	査定率の網	宿減	酬請求額に占 合)を縮減し		20年	きまでに	-0.3% (に縮減	16年度:0.67% 17年4月~18年2月:0.61%	С
66	未収金の網	宿減		を向上する多 の検討等によ 滅します。		F度まで	1=15%	判減	未集金マニュアルの改訂を 行い、休日退院事前会計の 実施等を定めました。	

	75- 47	- - -		,		スケジ	ュール	I	取組実績等	
	取組	項目	内容		17年度	18年度	19年度	20年度	取組実績(H18.3月末まで)	評価
		職員宿舎 本人負担 の適正化	職員宿舎本人負担(を図ります。	の適正化	雵施	→	→	→	検討を進めています。	С
67	各種医棠 外収益の 向上	保育所利 用料の適 正化	保育所利用料の適切	正化を図	実施	→	. →	→	検討を進めています。	С
	!	職員駐車 場の適正 化	職員駐車場利用料(を図ります。	の適正化	実施	→	→	→	周辺駐車場を調査の上、適 正な料金に見直しました。	С
68	柔軟で効務体制の	率的な勤 検討	執行体制の見直し 善による効率化を 員配置の適正化を す。	進め、職		実施	→	†	検討を進めています。	С
69	より効率 管理供給 の導入		各種診療材料等に 購入から在庫管理	、供給、 行為の適 め、材料	一 部 導入済 検 討	→	導入		購入から払出までの一連の 作業を委託した場合の情報 収集等を行いました。	
70	委託料の	縮減	業務仕様の見直し の入札・価格交渉 夫を行うことで、 縮減を図ります。	や契約時などのエ 委託料の	実施	→	→	→	17年7月から医事業務について、入院業務と外来業務を分離して入札を実施しました。	
71	光熱水費	の縮減	不使用時の消灯や の電源オフなどに 熱水費の縮減を進	より、光 めます。			「年度比 6削減		ボイラー配管の放熱防止策 を実施しました。 対前年度比△3.1%	С
7:	各部署のの見直し	執行体制 、適正化	の執行体制の見直	、各部署し、適正	実施	→	→	→	検討を進めています。	С
7:	I`SO14 得	1001の取	企業活動等の環境 のための取組事項 れたISO1400 します。	が規定さ		受 認 定 取 得	_	_	IS014001パイロットモデル 表彰を受けました。	В

平成18年1月以降の主な取り組み

月	取り組み内容	説明
1	セカンドオピニオン外来開始	(計画外)
	さわやか相談室開設	
	再診患者予約制の拡大(整形外科・眼科)	(計画外)従来は皮膚科で
		実施
3	内視鏡センター・外来化学療法室開設、	
	リハビリテーション訓練室移転拡充	
	「がんセンター」「救急センター」「母子	(計画外)
	医療センター」の院内機構設置	
	定位放射線治療装置の導入	(計画外)
	マンモグラフィー更新	(計画外)
	入院患者・家族説明会の定期的開催の開	(計画外)病院の役割や転院
	始	等相談の多いテーマで開催
4	外来診療開始時間を 9 時から 8 時 4 5 分	(計画外)
	に変更	
	安全管理マニュアルの改訂及び全職員へ	(計画外)
	の配布	
5	敷地内全面禁煙の実施	(計画外)
	正面玄関入口付近に総合案内板の設置	(計画外)
6	禁煙外来の実施	(計画外)
	DPC準備病院への参加	(計画外)
	ISO14001の認定	
	形成外科外来専用ブース設置	(計画外)
7	CCU当直開始	(計画外)
	AEDを外来ホール等 4 箇所に設置	(計画外)
8	地域がん診療連携拠点病院の指定	
	電子カルテの導入着手	
	麻酔科医師の365日当直体制確立	(計画外)
9	地域医療支援病院の指定(予定)	9月県医療審議会開催予定
月	新型救命救急センターの申請	(計画外)
以	緩和ケア病棟検討	
降	PET・CTの導入検討	(計画外)
	ICUの増床(6→10床)	(計画外)

^{* (}計画外) =横浜市立病院経営改革計画に記載されていない事業等。

平成 17 年度 患者アンケート調査 (市民病院)

P1 患者アンケート調査の概要

P2 アンケート調査結果における市民病院の特徴 P3~ 患者アンケート調査結果(入院)

P7~ 患者アンケート調査結果(外来)

1 患者アンケート調査の概要

(1)目的

市民病院に対する患者の意識・評価を明確にし、より一層の患者サービス改善へとつなげていくことを目的として実施した。

(2)調査概要

ア 実施期間

平成 18年3月1日~3月10日 [16年度:17年1月7日~1月20日)]

イ 調査票配布・回収方法

(ア)入院

実施期間中に病棟看護職員が調査票を配布し、各病棟デイルームに設置した回収ボックスへの投函により回収した。

(イ)外来

平成18年3月9日・10日に外来受付付近にて調査票を配布し、設置した回収ボックスへの投函により回収(当日中)した。

ウ 配布・回収枚数

(ア) 入院

配布 398 枚 [16 年度 514 枚]

回収 301 枚 [16 年度 401 枚]

回収率 75.6% [16年度 78.0%]

(イ)外来

配布 600 枚 [16 年度 3,500 枚]

回収 348 枚 [16 年度 2,017 枚]

回収率 58.0% [16年度 57.6%]

工 調査項目

- (ア) 記載者属性
- (イ)職員応対(職種別)
- (ウ) 医療の説明と同意(インフォームドコンセント)
- (エ) 患者本人確認
- (オ)病院案内・設備(入院は療養環境)
- (カ) 診察待ち時間 (外来のみ)
- (キ)総合的評価
- (ク) 当院への要望

2 アンケート調査結果における市民病院の特徴

(1) 当院の選択理由について

入院では「他院からの紹介」が 29.0%で最も多く、外来では「自宅・職場から近い」が 23.2%で最も多い理由となっている。

(2)総合的な満足度について

当院の総合評価のうち「診療内容の満足」について、「満足」「やや満足」の回答の合計は、入院では 77.8% (満足 51.3%・やや満足 26.5%) となっている。また、外来では 62.9% (満足 36.4%・やや満足 26.5%) となっており、ともに過半数を上回っている。

(3) 職員の対応について

入院・外来とも、医師・看護師に対する満足度が他の医療職と比較して高くなっている。

(4) インフォームドコンセントについて

医師・看護師からの説明については、入院における満足度が外来より高くなっている。

(5) 療養環境等について

入院・外来ともに、「施設療養環境」の満足度が相対的に低い。特に外来では レストランに関する満足が施設療養環境の中で最も低くなっている。

(6) 当院への要望について

「当院への要望」は、入院・外来ともに「外来待ち時間の短縮」(入院 24.5%・外来 19.9%)、「時間外診療や救急体制の充実」(入院 16.1%・外来 19.9%)が多かった。

患者アンケート調査結果(入院)

回答数:301人

1 記載者属性等

質問項目	回答数	回答結果	-	(16年度)	分析	
回答者	267	患者本人	85.0%			
	201	本人以外	15.0%			
性別	284	男性	50.0%		男女同数となってい	
[207	女性	50.0%	(49.2%)	る。	
		0~9歳	0.7%	(1.0%)	·	
	*	10~19歳	2.4%	(1.0%)		
		20~29歳	5.4%	(6.1%)	前年度と大きな違い	
年齢	ı /un	30~39歳	15.3%	(15.1%)	はなく、60歳以上の	
. щ.		40~49歳	8.8%	(8.9%)	方が50%を超えてい	
		50~59歳	14.9%	(11.5%)	ာ ့	
	*	60~69歳	25.1%	(23.0%)		
		70歲以上	27.5%	(33.4%)	·	
		内科(初診)	2.1%	(2.2%)		
		内科(腎疾患)	2.1%	(2.2%)		
		内科(糖尿)	2.7%	(3.6%)		
		内科(血液)	5.7%	(4.0%)		
		内科(膠原病)	3.0%	(1.6%)		
		呼吸器科	6.6%	(8.5%)		
		外科	13.8%	(14.1%)		
		耳鼻咽喉科 ※水:朝野	5.4%	(3.6%)		
		消化器科	10.8%	(10.3%)		
		形成外科	1.2%	(2.0%)		
		泌尿器科 海海盟科	7.5%	(6.9%)		
診療科		循環器科 呼吸器外科	4.8%	(4.8%)		
_{砂焼料} (複数回答あり)	333	眼科	0.9% 2.4%	(1.0½) (E.00\)	前年度と大きな違い はない。	
(後数四音のソ)		神経内科	1 20	(2.2%)	19.49.0.0	
			2 49	(1.4%)		
		ris elii 19				
			2.7% 0.3%	(0.4%)		
		整形外科	6.9%	(5.2%)		
		歯科口腔外科	0.0%			
 		國行马萨尔行 感染症科	0.3%	(0.0%)		
		神経精神科	1.2%	(0.6%)		
			0.9%	(0.6%)		
		放射線科	1.5%	(1.0%)		
		小児科	5.1%	(5.0%)		
		產婦人科	8.4%	(8.5%)		
Manda — a at — ····		初めて	49.3%	— (J.U/U/	初回入院と再入院が	
当院への入院回数	292	再入院	50.7%		はぼ同数。	
		0~14日	57.7%			
入院日数	279	15~30日	22.2%	······	6割近くが2週間以	
- 1120 m 200		31日~	20.1%		内の入院患者。	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		自宅・職場から近い	22.2%			
•		名医・専門医がいる	11.5%			
当院選択理由 (複数回答あり)		医療設備がよい	9.1%	·····	Phint, a	
		他院からの紹介	29.0%	—	「他院からの紹介」	
	486	家族または知人の紹介	4.3%		- が最も多く、「自 - 宅・職場から近い」	
		救急車で搬送	9.9%		が次に多い。	
		診療科目が多い	9.9% 4.5% 5.3%			
		評判を聞いてよいと思ったから	5.3%			
		その他	4.1%			

2(1) 職員の応対について

	66 68 75 C	回答数			回答結果			分析
1	質問項目	凹合致	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	77 77 1
00医						7		
1	話を聴く姿勢	297		14.1%	:		0.3%	 前年度に比べ「満足」の割合
					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(2.0%)		が減り、「ふつう」の割合が
2	言葉づかいや身だし	295		12.2%			0.3%	増えている。
	なみ	III PROJECTI	(72.2%)	(10.6%)	(16.5%)	(0.8%)	(0.0%)	
多面								
3	話を聴く姿勢	295		14.2%			0.0%	 前年度に比べ「満足」の割合
<u> </u>						(1.5%)		が減り、「ふつう」の割合が
4	言葉づかいや身だし	297		14.1%			0.0%	増えている。
_	なみ		(74.9%)	(12.2%)	(12.7%)	(0.3%)	(0.0%)	10.70
9#	を投跡に多いて。							是是是最多的。 第二章
5	言葉づかいや身だし なみ	258	54.3%	16.3%	29.5%	0.0%	0.0%	医師・看護師に比べ「満足」 の割合が低く、「ふつう」の 割合が高い。
(4)H	非製造を設計しらNare		hara.			计算多数	i a jiji tervi	
6	言葉づかいや身だし なみ	230	52.6%	16.1%	27.4%	2.6%	1.3%	医師・看護師に比べ「満足」 の割合が低く、「ふつう」の 割合が高い。
6	NEWS EVEN BEING	がで				Walter St.		
7	言葉づかいや身だし なみ	94	53.2%	16.0%	21.3%	0.0%	9.6%	「満足」「やや満足」は他の コメディカルと大きく変わら ないが、「不満」の割合が 1 割近い。

[※]③~⑤は16年度に調査実施せず。

(2) 患者の本人確認について

			_				
	質問項目	回答数		回答	結果	分析	
8	患者の安全確認のための		知ってい	る	知らなかった		
0	ネームバンドによる確認	282	80.5%			19.5%	
9	ネームバンド(装着時)		あった 対 1 1 項 ロ頭		t,	ふかった	 ・ネームバンド装着時の92% で説明が行われていた。
	の説明	262	6.9% 13.0%	72.1%		8.0%	・ネームバンドの確認につい
	注射・採血を行うときの						て、前年度より「行ってい た」割合が減った。
10	注射・採血を行うときの ネームバンドでの確認	266	76.3% (85.3%)	16. (8.		7.5% (6.2%)	・名前の確認はほぼ行われて
ļ		ļ				おぼえていない	いた。
11	注射・採血を行うときの 名前の確認	277	96.4%		4%	2.2%	
	一 コリックが座地の		(95.8%)	(0.	9%)	(3.3%)	

※回答結果下段()の数値は16年度調査(「無回答」を除き割合を再計算したもの)。

(3) 医療の説明と同意 (インフォームドコンセント) について

	質問項目	回答数			回答結果			分析
	APAH		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	77 70 1
12	医師による病状や治療	276	58.0%	17.4%	18.5%	5.1%	1.1%	
12	法、薬・検査説明		(57.2%)	(17.5%)	(20.1%)	(4.1%)	(1.1%)	 ・医師に関しては前年度とほぼ
13	看護師による入院生活、	275	54.9%	21.5%	21.1%	1.8%	0.7%	同様の割合であった。
'3	看護・手術・検査説明		(52.3%)	(18.7%)	(27.5%)	(1.1%)	(0.4%)	・看護師に関しては「満足」 「やや満足」の割合が微増し
14	リハビリテーション療法 士による訓練説明	64	43.8%	18.8%	21.9%	1.6%	14.1%	た。 た。 ・リハビリテーションについ
15	薬剤師による薬の説明	149	57.7%	15.4%	22.8%	1.3%	2.7%	て、「満足」「やや満足」の割 合が他職種と比べてやや低い。
16	栄養士による栄養指導	75	45.3%	16.0%	25.3%	2.7%	10.7%	

[※]③~⑤は16年度に調査実施せず。

(4)病院の案内について

, [質問項目	回答数		分析		
	17	ガニも おもない ク・・フ		わかりやすい	わかりにくい	どちらともいえない	81.3%が災害時等の
	17	掲示板・案内等について	257	54.5%	7.4%	38.1%	避難万法の説明を 受
	4.0	災害時等の避難方法の説		受けた	受けていない		けていない」または「党 えていない」と回答し
	18	明	251	18.7%	64.9%	16.3%	た。

(5) 面会や消灯時間について

	質問項目	回答数	適切	不適切	どちらともいえない	分析
19	平日の面会時間	268	59.3%	16.4%	24.3%	他の時間設定に比
20	休日・祝日の面会時間	270	68.5%	10.0%	21.5%	べ、面会時間について
21	消灯時間	261	71.6%	10.0%	18.4%	回答が分散している。

(6) その他の療養環境について

	質問項目	回答数	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	分析
22	清掃について	281	47.0%	23.5%	•		0.4%	
		<u> </u>	(45.4%)	(19.8%)	(28.0%)	(4.0%)	(2.9%)	
23	トイレについて	279	38.4%	22.6%	24.7%	11.5%	2.9%	
			(37.6%)	(17.6%)	(30.1%)	(9.9%)	(4.8%)	・清掃・トイレについて「満 足」「やや満足」の割合が前
24	ベッドについて	281	42.0%	18.9%	31.0%	7.5%	0.7%	年度と比べて増加した。
25	病室の温度調整について	277	32.5%	18.1%	33.6%	13.7%	2.2%	・他に比べ、売店及び自動販 売機について、「やや不満」
26	病室の採光について	283	34.6%	15.9%	38.2%	9.2%	2.1%	「不満」の割合が高かった (売店…23.3%、自動販売機
27	売店について	266	19.9%	14.3%	42.5%	15.8%	7.5%	19.9%)
28	自動販売機について	251	17.1%	12.7%	50.2%	14.3%	5.6%	
29	テレビの利用について	262	24.4%	12.2%	45.4%	9.2%	8.8%	

※回答結果下段()の数値は16年度調査(「無回答」を除き割合を再計算したもの)。

(7) 当院の総合的な評価について

	質問項目	回答数		回答結果			分析
30	職員のプライバシーへの 配慮	281	とてもしていた 15.3% 53.0%	27.8%	3.2%	0.7%	・診療内容が「満足」「やや満足」は
31	家族や友人に当院をすす めたいか	283	19.4% 55.5%	21.9%	2.8%	0.4%	77.8%であった(外来62.9%)。 ・いずれの項目もマイナス評価は 5%未満であった。
32	当院での診療内容の満足 度	279	満足 やや満足 51.3% 26.5%	ふつう 17.6%	やや不満 3.9%	不満 0.7%	1370不屑 (の) バー。

(8) 今後の当院への要望について

(8.	質問項目	回答数	回答結果		分析
	2002		① 夜間・休日など、時間外の診療や救急体 制の充実	16.1%	
			② 開業医や他の病院との連携	9.9%	
			③ 診療機能の充実	8.9%	
	人然の火陸への		④ 保健、福祉施設と連携	7.8%	
33	今後の当院への 要望 (複数回答	473	⑤ 外来の待ち時間の短縮	24.5%	ず、外来の待ち時間短縮への要望 が最も高かった。
	あり)		⑥人間ドックや健康診断など、病気の予防の 強化	8.9%	
			強化 ⑦ 医師・看護師以外に気軽に相談できる場 所	10.8%	
			⑧ 特になし	9.9%	·
			⑨ その他	3.2%	
			① がん診療の充実	26.4%	
			② 脳卒中診療の充実	6.1%	
	特に充実してほ		③ 心臓病診療の充実	10.1%	
	しい診療機能 (上記で「③	148	④ リハビリテーション医療の充実	12.8%	・「がん診療の充実」と「長期間 入院が可能な療養病床の設置」が
34	診療機能の充 実」を選択され	' '-	⑤ 小児医療の充実	8.1%	11年1年間数74茶串の単身が高かっ
	た方)		⑥ 産科診療の充実⑦ 長期間入院が可能な療養病床の設置		
			⑧ その他	3.4%	

患者アンケート調査結果(外来)

回答数:348人

1 記載者属性等

質問項目	回答数			(16年度)	分析
回答者	307	患者本人 本人以外	87.9%		77.01
凹合有	307	本人以外	12.1%		•
性別	324	男性	54.9%		
エかり	324	女性	45.1%	(55 48)	1
		0~9歳	0.6%	(0.2%)	前年度に比べて70歳以 上の割合が大きく増加 している。
		10~19歳	0.9%	(0.5%)	
		20~29歳	3.0%	(4.5%)	1
年齢	336	30~39歳	0.9% 3.0% 7.1%	(10.7%)	前年度に比べて70歳以
	330	40~49歳	8.3%	(11.7%)	上の割合が大きく増加 している。
	1	50~59歳	16.1%	(15.4%)	している。
		60~69歳	24.7%	(26.4%)	
		70歳以上	39.3%	(30.6%)	
	-t	内科(初診)	3 2%	(1.7%)	
		内科(腎疾患)	1.8%	(1.7%) (1.7%)	
		内科(糖尿)	3.4%	(3.8%)	
		内科(血液)	3.4% 2.9%	(2.6%)	
		内科(膠原病)	1.6%	(0.8%)	
		呼吸器科	2.4%	(5.3%)	
		<u> </u>	9.0%	(12.8%)	
1		耳鼻咽喉科	7.9%	(4.9%)	
		消化器科	5.8%	(7.7%)	
}		形成外科	1 8%	(1 4%)	
		泌尿器科	1.8% 5.8% 9.0%	(1.4%) (6.5%)	
	ļ	泌尿器科 循環器科	9.0%	(8.2%)	·
当日の受診科		呼吸器外科	0.5%	(1.0%)	
(複数回答あり)	379	眼科	9.0%	(5.3%)	
		神経内科	4.7%	(5.1%)	
		心臟血管外科	0.3%	(0.9%)	
		皮膚科	6.9%	(4.8%)	
		リハビリ科	0.8%	(0.5%)	
		整形外科	6.3%	(6.9%)	
		歯科口腔外科	6.3% 1.3%	(1.8%)	
		感染症科	0.5%	(0.3%)	
		感染症科 神経精神科	2.4%	(3.0%)	
		脳神経外科	1.8%	(1.4%)	
		放射線科	4.7%	(3.2%)	
		小児科	1.3%	(2.1%)	
		産婦人科	4.7%	(6.3%)	
7440+1	000	予約あり	86.6%	(0.0/0)	
予約の有無	336	予約なし	13.4%		
Wild on TO SA OT EA	000	初めて	2.5%		ほとんどが2回目以上
当院の受診経験	320	2回目以上	97.5%		の受診となっている。
		自宅・職場から近い	23.2%		
		名医・専門医がいる	13.0%		
		医療設備がよい	13.9%		
\/ m4 77 5A 777 1		他院からの紹介	18.7%		「自宅・職場から近
当院受診理由	583	家族または知人の紹介	7.0%		い」が最も多く、「他
(複数回答あり)		救急車で搬送	7.0% 5. 7 %		院からの紹介」が次に
		診療科目が多い	12.5%		多い。
		評判を聞いてよいと思ったから	2.4%		,
		その他	3.6%		
		In	0.0/0		

2(1) 職員の麻対について

2 (回答結果	Ę		分析
	質問項目	回答数	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	JJ VI
①医				30 30	e and the			
1	話を聴く姿勢	324	49.7%	16.7%	30.2%	2.2%	1.2%	
<u>'</u>	#H G 40 / 353			(17.6%) 12.9%				前年度に比べ「満足」「やや 満足」の合計が増えている。
2	言葉づかいや身だしなみ	317				(1.2%)		
OF	WINGSING IN SERVICE		(40.5%)	(10,2%)			(Year)	
-		320	45.9%	17.5%	35.0%	0.9%		
3	話を聴く姿勢							前年度に比べ「満足」「やや
4	言葉づかいや身だしなみ	300				1.0%		満足」の合計が増えている。
			(42.7%)	(17.5%)	(37.5%)	(1.4%)	(0.9%)	
③模	各技 師信念以表示。							他の職種とほぼ同様の割合と
5	言葉づかいや身だしなみ	221	47.1%	18.1%	32.1%	2.3%	0.5%	なっている。
④放							e la	
6	言葉づかいや身だしなみ	194	49.5%	15.5%	32.0%	2.1%	1.0%	他の職種とほぼ同様の割合となっている。
(S)(I)		NN C						
7	言葉づかいや身だしなみ	T		15.5%	39.7%	1.7%	0.0%	他の職種とほぼ同様の割合となっている。
6 農	AND EDWARD							
72.5E	(外来受付。)会司过了。	286	37 1º	18.5%	39 5%	3.1%	1.7%	THE STATE OF THE PARTY OF THE P
8	話を聴く姿勢	200					(1.1%)	前年度に比べ「満足」「やや
····		280				3.2%		満足」の合計が増えている。
9	言葉づかいや身だしなみ					(2.5%)		

(2) 医療の説明と同意 (インフォームドコンセント) について

`	,							
	質問項目				回答結果	分析		
l	質問 垻日	回答数				やや不満		
1	医師による病状や治療	288	46.5%	18.1%	30.2%	4.9%	0.3%	
10	法、薬や検査についての 説明			•	!	(6.3%)		「満足」の割合が5ポイント 以上増加している。
	看護師による診察前や検	257	42.4%	20.6%	34.6%	1.9%	0.4%	以上増加している。
11	査についての説明		(36.4%)	(18.8%)	(40.7%)	(3.0%)	(1.0%)	

(3) 患者の本人確認について

``_) / Mix (2007) 1-3 (50E35) (2007)					
	質問項目	回答数	回律	答結果		分析
	患者の安全確認のための	24.4	知っている	知ら	なかった	
12	診察券による確認	314	90.4%		9.6%	
	注射・採血を行うときの		行っていた 行っ			刑子及に比 ゆみかんしゅうし
13	注射・採血を11 / ここの 診察券の確認	248		.2%		確認している割合が大きく増加し、
	102 MC M. A. C.			5.1%)	, ,,,,,,,	ほぼ全てで行われている。
	いな ボカナケントキの		行っていた 行っ			
14	注射・採血を行うときの 患者名の確認	248	1 ;)4%	1.2%	
			(92.1%) (3	3.1%)	(4.8%)	

(4) 病院案内や設備などについて

質問項目			回答結果						分析
15	掲示板・案内等について	267	わかりやすい		わかりにくい		どちらともいえない		「わかりにくい」は1割
			63.3%		9.4%		27.3%		程度。
			満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満		分析
16	待合室スペース	310	32.9%	20.0%	40.6%	5.8%	0.6%		
17	トイレについて	308		18.8%				年度に出	はび滑掃について、前 とべ大きく満足度が上
	•••••			(16.9%)				がった。	
18	 清掃について	306		24.8%	,		i		L」「やや満足」が、 8.6%→46.4%、滑掃
			(25.6%)	(20.5%)	(46.6%)	(5.4%)	(1.9%)	46.1%-	÷60.7%)
19	8階のレストランについ て	194	10.8%	17.0%	56.2%	12.4%	3.6%		

(5) 診察待ち時間について

※2科以上受診のかたは、最初にかかった科について回答。

	質問項目	回答数			回答結果			分析		
	【予約で来院】		時間通り	15分以内	30分以内	31分以上	1時間以上	約半数が予約時間から15 分以内で診察開始してお		
	予約時間から診察開始 までの時間	228	24.6%	25.0%	26.8%	13.6%	10.1%	り、30分以内の割合も前年		
20			(22.3%)		(39.9%)	(22.0%)	(15.7%)	度に比べて大きく増加した (62.2%→76.4%)		
20	【予約なしで来院】		30分以内	31分~1時間	1時間~1時間半	1時間半~2時間	2時間以上			
ļ '	来院から診察開始まで	32	15.6%	34.4%	25.0%	15.6%	9.4%	の割合が減少した(24.1%		
	の時間		(24.1%)	(31.1%)	(25.9%)	(12.1%)	(6.8%)	→15.6%)		
	待ち時間の感じ方		とても長い	長い	ふつう	長くない	全く長くない	予約なし来院では「とて		
21		223	17.5%	24.7%	39.0%	13.0%	5.8%	かわなし未洗では「こで も長い」「長い」割合が		
21	【予約で来院】	191	16.8%	23.6%	40.8%	13.1%	5.8%	55.2%であったが、予約 来院では40.4%。		
	【予約なしで来院】	29	20.7%	34.5%	24.1%	13.8%	6.9%	水炉 C 1&40.4/0。		

(6) 当院の総合的な評価について

質問項目		回答数	回答結果					分析
22	職員のプライバシーへの 配慮	269	೬೯ಕ೬೯೪೩ 11.2%		ふつう 43.1%		全くしていない 0.4%	・診療内容が「満足」「やや満足」は
23	家族や友人に当院をすす めたいか	275	erefferu 9.8%		ふつう 30.2%		0.0%	62.9%であった(入院77.8%)。 ・いずれの項目もマイナス評価は
24	当院での診療内容の満足 度	264	満足 36.4%		ふつう 32.2%	やや不満 3.8%	不満 1.1%	5%未満であった。

※回答結果下段()の数値は16年度調査(「無回答」を除き割合を再計算したもの)。

(7) 今後の当院への要望について

	質問項目		回答結果	分析	
	今後の当院への 要望(複数回答 あり)	533	① 夜間・休日など、時間外の診療や救急体 制の充実		
			② 開業医や他の病院との連携	9.6%	
			③ 診療機能の充実	10.9%	
			④ 保健、福祉施設と連携	4.5%	・「夜間・休日など、時間外の診 療や救急体制の充実」「外来の待
25			⑤ 外来の待ち時間の短縮		ち時間短縮」への要望が並んで高しかった。
			⑥人間ドックや健康診断など、病気の予防の 強化	12.2%	<i>III-91</i>
			⑦ 医師・看護師以外に気軽に相談できる場 所	13.7%	
			⑧ 特になし	8.1%	
			⑨ その他		
	特に充実してほしい診療機能(上記で「③診療機能の充実しを選択された方)	143	① がん診療の充実	21.7%	·
			② 脳卒中診療の充実	16.8%	
			③ 心臓病診療の充実	16.8%	
26			④ リハビリテーション医療の充実	11.2%	八虎かり形は水食液外へ以降」 ルー
			⑤ 小児医療の充実	4.2%	ほぼ同率で充実の要望が高かっ た。
			⑥ 産科診療の充実	4.2%	
			⑦ 長期間入院が可能な療養病床の設置	22.4%	
			⑧ その他	2.8%	

地域がん診療連携拠点病院の指定について

市民病院は、7月28日に厚生労働省において開催された「第1回がん診療連携拠点病院の指定に 関する検討会」(座長=垣添忠生国立がんセンター総長)において「地域がん診療連携拠点病院」と しての指定を了承され、8月24日付けで正式に指定されました。

1 指定の経過

当院は、横浜西部医療圏の中で病院の特徴として、がん診療機能の向上と救急医療の充実を診療の柱として今後重点的に整備していくものといたしました。

このうちがん治療機能の向上については、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けることにより、医療圏内での位置づけを明確にすることができ、病診連携など地域医療機関との連携が深めやすくなること、患者もがんの専門病院として市民病院を認識し受診に当たっての目安となることなどの理由から指定を目指して、病院職員が一丸となって努力してきたものです。

2 指定の要件(4年ごとの更新)

地域がん診療連携拠点病院は、質の高いがん診療を全国で等しく実施できるようにするため、 わが国に多いがん(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん等)について、各地域におけるがん診療 の連携・支援を推進するために拠点として設けるもので、県の推薦により、保健医療圏ごとに厚 生労働大臣が指定します。

今回の指定にあたっては厚生労働省では以下の点を特に重視して審議に当たったと報道されています。 ※()は当院の状況

- 緩和ケアチームの設置(緩和ケアチームが活動中)
- 相談支援体制の整備(さわやか相談室において相談や情報提供などに対応)
- 院内がん登録の実施(院内がん登録推進プロジェクトを設置し、実施中)
- 腫瘍センターの設置(特定機能病院のみ)

3 指定の状況

全国には370ある医療圏のうち、今回の指定で177箇所の医療圏内に「地域がん診療連携拠点病院」を有することとなります。

神奈川県内では、従来から、県立がんセンター(都道府県拠点病院)と藤沢市民病院(湘南東部)が指定を受けていましたが、当院(横浜西)のほかには、次の4病院が指定を受けることとなっています。

- 川崎市立井田病院(川崎南部)
- 相模原協同病院(県北)
- 横須賀共済病院(横須賀・三浦)
- 小田原市立病院(県西)

4 診療報酬上の評価

悪性腫瘍の患者に対して、入院初日に200点加算できます。

5 市民病院におけるがん診療機能の強化

地域がん診療連携拠点病院の指定を契機に、更にがん診療機能の充実を図り、早期発見から 早期治療に向けての専門的な治療体制を確立するとともに、がん治療率の向上を目指し、今後も 増加が予想されるがん患者さんに対して、高度で良質な医療を提供してまいります。

(1)「がんセンター」の設置

がん患者に対しては、診療部門などが相互に連携した取組が必要となりますが、院内に「がんセンター」を設置し、責任者(がんセンター長=副病院長)のもとで、有機的な活動を行うことにより院内のがん診療体制の充実を図ります。

(2)内視鏡センター(内視鏡室7室)の開設

内視鏡を用いた精密検査による早期発見と開腹手術を伴わない内視鏡下による早期治療を速 やかに実施して、患者さんの身体的負担を大幅に軽減します。

(3)外来化学療法室(ベッド9台・チェアベッド6台)の開設

患者さんのニーズに応じた通院治療を提供し、QOLを高めるため、プライバシーに配慮された 良質なアメニティの環境で、抗がん剤などの点滴による治療を行います。

(4) 定位放射線治療装置の導入

病巣部分のみに対して強力な放射線を照射する一方で、周囲の組織に対しては極力放射線が 当たらないようにして、治療の効果を高めます。

(5)PET·CT(陽電子放射断層撮影装置)導入の検討

CTやMRIは形からがんを見つけますが、PET・CT検査は、がん細胞が正常細胞に比べ大量のブドウ糖を取り込むという性質を調べてがんを発見します。CTと組み合わせるとより効果的と言われており、早期のがん発見が可能です。

(6)緩和ケア病棟の整備

終末期患者をはじめ緩和ケアを必要とする患者の療養環境の向上を図るため、アメニティに配慮した緩和ケア病棟を整備します。

(7)がん検診センターの充実

がん検診専門機関としての特徴を活かし、蓄積されたデータやこれまでの経験をもとに、市民への啓発活動の取り組むなど、市の施策としてのがん検診事業の充実に貢献します。